

第1879号

2018年6月10日  
日本共産党根室市議団  
根室市宝林町4-203  
TEL 23-6023  
FAX 24-1684

# 党議員団と無所属議員共同で 教育に関する要望書を提出

日本共産党根室市議団と無所属の久保田陽議員は4日、寺脇文康教育長と石垣雅敏副市長に対し、「根室市内の学校教育環境の整備等に関する要望書」を提出しました。

久保田議員と党議員団は、この間、「市内の学校教育について」を共通テーマにして議論を重ねるとともにいくつかの学校現場を訪問して問題点を話し合ってきました。

要望内容は次の通り、9点にわたっています。

1. 臨時職員となっている学力向上補助教員・特別教育支援員等について、各学校現場で重要な役割を果たしており、その給与など待遇面の改善をおこなうこと
2. 臨時・代替え教諭を含めた教職員の確保対策の促進(地域のPR活動の促進等)
3. 教職員の研修等の機会の確保・充実。特に道内・道外で実施される研修への参加に対する旅費等の補助を行うこと。
4. 今後の部活動における外部指導者の確保について、各学校任せでは大変に困難であり、地域全体として人材の確保など取り組みを促進すること
5. 教育効果を高め教職員の業務効率改善に資する学校におけるICT化の促進。過度なステップの機材を長期間かけて整備するのではなく、緊急性をそれぞれの学校現場と協議しながら優先順位を定め、整備を図つていくこと
6. 管内他地域と比較しても提供される給食の内容が「副食が少ない」等と指摘されており、その改善の観点からも老朽化しかつ十分な調理器具を配備できない現在の学校給食調理場の整備の具体化を早急にはかること
7. 通常の教室以外の「学習室」に配置されている机・椅子は古い物品を流用しており、通常教室と同じように更新をおこなうこと(光洋中学校)
8. 校内の劣化したアスファルトの全面改修(成央小学校)
9. グラウンドの法面が崩落している箇所の修繕(成央小学校)

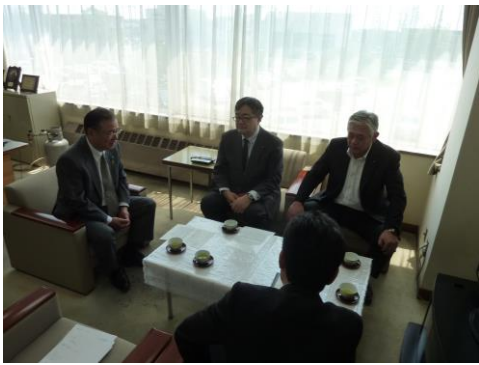


(要望書を提出する右から日本共産党の橋本議員、鈴木議員、寺脇教育長、園田教育部長)

その内容を今回、「根室市内の学校教育環境の整備等に関する要望書」にまとめました。

その内容を今回、「根室市内の学校教育環境の整備等に関する要望書」にまとめました。

(左から石垣副市長、鈴木議員、無所属の久保田議員)



(「ノツカマフチャシ跡」の案内板の前で説明する船山氏と説明を聞く参加者)

当日は好天のもと、「ノツカマフ」と「ランネモト」のチャシ跡を訪ねました。参加者は、春の根室の草花を愛でつつ、当時のアイヌの人々の生活に思いをめぐらし、根室の歴史と自然を満喫していました。



党連合後援会が「根室半島チャシ跡群探索会」を実施

日本共産党根室市連合後援会(会長・山口庄一郎)は5月27日、「ねむろトコロジストの会」の船山岩雄氏にガイドをお願いし、「根室半島チャシ跡群探索会」を実施しました。

「シーサイドクリーンプロジェクト2018」に参加しました



(桂木海岸での作業の様子)

5月27日「シーサイドクリーンプロジェクト2018」が行われ、鈴木一彦議員と橋本竜一議員も参加しました。

シーサイドクリーンプロジェクトは、海岸が本来持つ「やすらぎの場」としての機能再生や環境保全を図るため、市民一体となった共同事業として、毎年5月に行われているものです。

議員団も毎年参加していますが、ごみは年々減少していると感じています。